
令和6年度荷役作業合同安全パトロールを実施！

～ 労働災害防止団体と労働基準監督署長で実施 ～

川崎南労働基準監督署

当署管内には、首都高速道路湾岸線に直結する物流拠点として、東扇島地区などに多くの陸上貨物運送事業の事業場があり、トラックの荷台等における荷役作業中の墜落や転倒、はさまれなどの労働災害が多発しており、陸上貨物運送事業労働災害防止協会が実施している「陸上貨物運送事業年末・年始労働災害協調運動」に併せて合同パトロールを実施し、労働災害防止の取組を確認しました。

実施日 令和6年12月2日（月）

場 所 川崎市川崎区田辺新田2-1
N X 商事株式会社 ロジスティクス・サポート事業部 川崎LSセンター

事業内容 機械設備等の大型重量物の梱包を主体とした作業を行っています。
梱包するための荷の受け入れ、梱包後の出荷などクレーンやフォークリフトを用いた荷役作業が行われています。

実施者 川崎南労働基準監督署長
陸上貨物運送事業労働災害防止協会神奈川県支部川崎南分会長

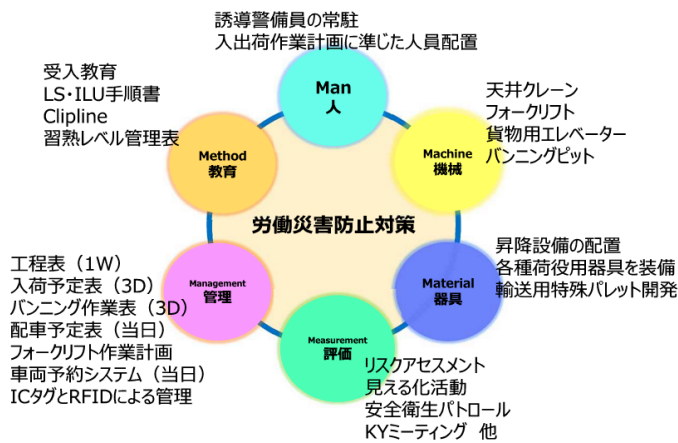


N X 商事株式会社ロジスティクス・サポート事業部
川崎LSセンター



写真左は、陸災防 川崎南分会長
写真右は、川崎南労働基準監督署長

労働災害防止の取り組みの一部をご紹介します。



6つのMを組み合わせて、人と物を総合的に管理しています。



リスクアセスメントの実施結果を通路に掲示し、見える化を推進しています。



車両予約システムの導入により、荷待ち時間を大幅に削減し、荷役作業の効率化を推進しています。



作業場所は、整理整頓されています。通路が明示され、しっかり確保されています。

Measurement (評価)



- ◆ リスクアセスメント
⇒ 危険個所の洗い出し～改善活動を実施
- ◆ 見える化活動
⇒ リスクアセスメントを含む改善活動を全拠点で四半期毎に実施
- ◆ 安全衛生パトロール
⇒ 当番制で構内パトロールを毎日実施し、翌朝礼にて、指摘・改善内容を共有、注意喚起
- ◆ KYミーティング
⇒ 全体朝礼後、作業エリア毎に分かれて作業内容に対する危険予知のミーティングを実施
- ◆ 品質管理部パトロール
⇒ 品質管理部による安全、品質パトロールが各拠点で年複数回実施
- ◆ 労使安全パトロール
⇒ 総務部、品質管理部、労働組合代表により各拠点年一回実施

『見える化』活動報告シート (リスクアセスメント編)

新棟N1口の通り抜け防止について

項目	改善前	改善後
改善前		
改善内容	新棟N1口より、バンニング作業とは関係ない方が通り抜けたいことがあり、フォークリフトと接触しないか懸念があった。	網と立ち入り禁止の看板を設置いただき、これにより外部者の通り抜けが減少し、フォークリフトとの接触リスクが低減した。
実施日時	2024年12月19日	2024年12月20日
実施場所	新棟N1口	新棟N1口
実施者	1	2
確認者	2	5
評価	IV	II

安全衛生日報

項目	内容
作業内容	
危険予知	
安全確認	
その他	

ワンポイントKY 活動表

作業内容: 新棟N1口パレット積み

危険予知: 高さ、重量、落下物

安全確認: 作業範囲の確保、周囲の状況確認

その他: 作業完了後の片付け、作業場の整理